

## ふるさと応援寄付金返礼品出発式



↑返礼品出発式での記念撮影

11月1日、平成30年度ふるさと応援寄付金の返礼品出発式を広野町役場前で実施しました。広野町のふるさと応援寄付金に1万7千円以上寄付していただいた方へ広野産の特別栽培米20キロを返礼品として贈るもので、今年は過去最多の約1600件の申し込みをいただきました。

出発式で遠藤町長は、「町内農業者が気持ちを込めて作った米を、全国の方々に味わってほしい。」と挨拶し、遠藤町長、栽培農家関係者約50人、町イメージキャラクター「ひろぼー」が、出発するトラックを見送りました。

## 広野町津波避難訓練を実施



↑富岡消防署長の講評を聞く参加者

10月20日、福島県沖を震源とする地震が発生し、沿岸部に津波警報が発令された想定で津波避難訓練を実施しました。訓練は、下浅見川地区や折木高萩地区を対象として実施され、対象地区の住民や企業関係者らは、町の防災無線や携帯電話への緊急速報メールで避難の連絡を受けると、町内の築地ヶ丘公園や折木地区集会所に避難し、消防団員や婦人消防隊員らは避難者誘導訓練や炊き出し訓練を行いました。また、災害対策本部では、警察・消防への連絡、消防団との連携、町職員への緊急連絡体制などを確認しました。

## 磯崎仁彦経済産業副大臣挨拶来町



↑磯崎経済産業副大臣(写真左)に要望書を手渡す遠藤町長(写真右)

10月16日、磯崎仁彦経済産業副大臣が広野町役場を訪れ、遠藤町長と意見交換を行いました。遠藤町長は磯崎経済産業副大臣に対して町の現状を説明するとともに、①東町地区産業団地(仮称)の整備等、②高効率石炭火力発電所(IGCC)の立地に伴う新たな交付金制度の創設、③イノベーション・コースト構想の推進、④放射性トリチウム水の処分を巡る問題についてなどの要望書を手渡しました。

## 広野駅環境美化推進協議会と 広野町婦人会に感謝状贈呈



↑感謝状が贈られた青木さん(写真中央)と木幡さん(写真右から2人目)

10月22日、広野町役場において、JR東日本水戸支社などが広野駅環境美化推進協議会と広野町婦人会に感謝状を贈呈しました。両団体は定期的にJR広野駅と駅周辺の清掃活動、花壇の手入れなどを行い、明るく美しい駅づくりに貢献したことに對して、感謝状が贈られました。青木豊道いわき駅長と浜野清和副駅長が久田芳明広野駅環境美化推進協議会会長と木幡綾子広野町婦人会会長にそれぞれ感謝状を手渡しました。

## 渡辺博道復興大臣挨拶来町



↑渡辺復興大臣との意見交換の様子

10月11日、渡辺博道復興大臣が広野町役場を訪れ、遠藤町長と意見交換を行いました。遠藤町長は渡辺博道復興大臣に対して町の現状・復興について説明し、復興庁の後継組織の在り方や財源確保、若者の帰還支援、心の復興などを要望しました。渡辺復興大臣は、「地域により復興の状況が違うと認識している。」と話しました。

## 地方教育行政表彰受賞を報告



↑表彰受賞を報告した猪狩さん(写真右)

11月7日、平成30年度教育・文化関係表彰で地方教育行政表彰を受けた猪狩順子さんが広野町役場を訪れ、遠藤町長に受賞を報告しました。猪狩さんは2004年から町教育委員を務め、町の各種事業に出席するなど町の教育・文化の発展に貢献してきました。猪狩さんは、「好きで続けてきたことが認められてうれしい。」と喜びを語りました。遠藤町長は、「今後も広野町の教育・文化の醸成に貢献してほしい。」と話しました。

## ひろの秋まつりを開催



↑文化展の様子

11月3日～4日、ひろの秋まつりを広野町中央体育館や広野町公民館前駐車場で開催しました。初日の3日は、地元産の野菜などの販売があった収穫祭や、落語家による「笑い健康」をテーマとしたユーモアあふれる話が行われたほか、2日間の日程で文化展を開催し、広野町の各種文化団体会員が丹精込めて仕上げた絵画や手芸、生け花、盆栽などの作品や、地元子どもたちの絵や習字など、多数の作品が展示され、来場した多くの人が鑑賞しました。

## 東北地区社会教育委員連絡協議会 表彰受賞を報告



↑表彰受賞を報告した田村さん(写真右)

11月5日、広野町社会教育委員の田村弘一さんが広野町役場を訪れ、遠藤町長に東北地区社会教育委員連絡協議会表彰受賞を報告しました。田村さんは町社会教育委員を14年10ヶ月間務め、広野昇龍太鼓の結成に尽力するなど社会教育の推進に貢献してきました。田村さんは、「今後も社会教育の発展のため力を尽くしたい。」と話しました。